



【供給量の増加】

・タスクフォース開催後、石油元売会社や商社等の取組により、行動計画とりまとめ時に予定していた週150便超を超える、週500便程度の燃料供給のメドがたった。

【就航・増便の状況】

- ・前回のFU時点において、就航・増便に至っていなかった事例週63便については、すべて解消したところである。
- ・一方、前回のFU後も、インバウンド需要の増加により、更なる就航・増便の要請があったことから、現時点で、就航・増便に至っていない事例が合計週22便となっており、航空燃料の安定的な供給に向けて、引き続き、関係者と取り組んでいく。

【参考】 運航便数の推移（便/週）

2024夏ダイヤ	2024年7月1週目	2024年冬ダイヤ	2025夏ダイヤ
4874.5	5078	5178	約5600（※）

（※）3月10日時点の国際旅客定期便事業計画申請をもとに推計